

## 多自然川づくり取り組み事例

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| タイトル：耳川水系総合土砂管理計画を通じた川づくり         |  |
| 水系／河川名：耳川水系／耳川                    | 河川分類：中小河川                                    |
| 河川の流域面積：884km <sup>2</sup>        | 整備計画流量：5900m <sup>3</sup> /s(W=1/40) セグメント：1 |
| 事業：その他                            | 事業開始年度 平成23年度                                |
| 目標設定：定性的                          | 段階：C(モニタリング・評価時)                             |
| 課題・目的(主な)：流下能力の確保、縦断的連続性の保全・再生・創出 |  |
| 工法(主な)：護岸整備、その他                   |  |
| 配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催     |  |

### 背景・課題、目標設定

〈耳川水系総合土砂管理計画策定の経緯〉

平成17年の台風14号の出水により、耳川流域で甚大な浸水被害が発生した。山腹崩壊による大量の土砂が、河川やダム貯水池へ流入したことが被害拡大の一因となったことから、宮崎県では山地から河口・海岸までの流域全体で土砂に関する問題・課題の解決を図ることを目的に、総合土砂管理計画の策定に着手した。

この計画の実施にあたっては、関係市町村や**地域住民の合意形成が非常に重要**であることから、行政機関の縦割り無くし、さらに九州電力などの事業者、地域住民、学識者が連携しながら、上流、中流、下流域の住民同士の相互理解を進めるなど議論を重ね、流域共通の目標である「基本的な考え方」と役割分担を明確にした「**行動計画**」で構成される「**耳川水系総合土砂管理計画**」を平成23年10月に策定した。

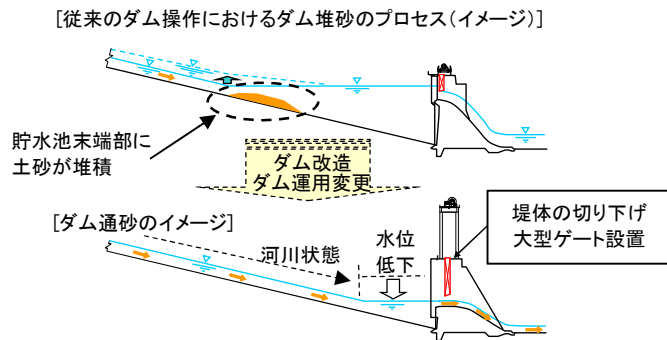
〈耳川水系総合土砂管理計画の目標〉

【耳川を良い川にする。～ 森林(もり)とダムと川と海のつながり ～】

### 取り組み内容・対策例

耳川水系の土砂に関わる問題・課題を解決するため、本計画における「行動計画」は、宮崎県の土木部門だけに限らず、治山や森林事業も交えた対策を行うほか、九州電力(株)や漁協組合などの民間事業者も取り組む合計60項目で構成している。この行動計画の中核的な事業として、九州電力(株)により「**ダム通砂運用**」を行っている。

### 【ダム通砂運用のイメージ】



### モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

- ・総合土砂管理計画における行動計画のうち中核的事业であるダム通砂運用が平成29年度から開始されたことで、今後、流域の土砂環境が変化していくことになる。
- ・平成29年度のダム通砂運用後のモニタリング調査結果では、ダムの下流において砂州の拡大や瀬の形成など、おおむね当初の想定通りの効果が得られており、ダム通砂運用による悪い影響は確認されていない。今後もモニタリング調査を継続し、必要に応じてダム通砂運用計画を改善していく。

### 平成29年度ダム通砂実施結果(治水・利水・環境面)

|    | ダム通砂により予想される効果など   | 平成29年度ダム通砂実施後の変化   |
|----|--|--|
| 治水 | ○ 治水安全度は維持・向上  | ○ 治水安全度は維持・向上  |
| 利水 | ○ 水の利用への影響は小さい   | ○ 水質は既往実績と同程度  |
| 環境 | ○ 多様な生物が生息する環境への変化<br>・河床が石や礫、砂など様々な大きさの土砂で構成<br>・砂州の拡大と瀬の明瞭化 など | ○ 西郷ダム下流では、土砂の供給による砂州の拡大と瀬の形成を確認<br>○ 生物に関するモニタリング調査結果(魚類・底生動物等)について、大きな変化なし |

### 備考



航空写真(西郷ダム下流河道、平成29年8月撮影)



航空写真(西郷ダム下流河道、平成29年10月撮影)

問い合わせ先 ①宮崎県日土木事務所 河川砂防課 ②九州電力(株) 耳川水力整備事務所  
電話番号 ①:0982-52-4194 ②:0982-53-5834

# 耳川水系総合土砂管理計画を通じた川づくり

Keywords : 総合土砂管理計画, 地域連携, ダム通砂, モニタリング

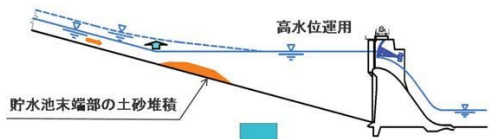
## ●総合土砂管理計画

耳川水系総合土砂管理の「目標」: 「耳川をいい川にする～ 森林とダムと川と海のつながり～」



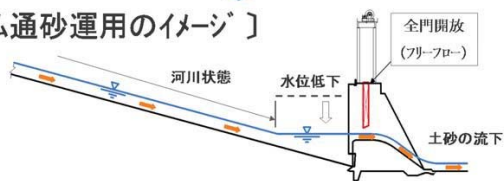
## ●ダム通砂

〔従来のダム操作〕



貯水池末端部の土砂堆積  
 ↓  
 治水安全度の低下など

〔ダム通砂運用のイメージ〕



出水時に水位を低下  
 ↓  
 河川状態をつくりだし、上流から流れる土砂を下流に流下  
 ↓  
 治水安全度の向上など



平成17年台風14号での災害を契機に、山地から河口・海岸までの流域全体で土砂に関わる問題・課題の解決を図るために地域住民等と連携を図りながら策定された総合土砂管理計画の概要と、本計画における中核的な事業であるダム通砂運用の概要とその効果・影響を評価するためのモニタリング調査結果について紹介する。